

サービス付き高齢者向け住宅 防火・消火設備を点検

消防長が特別査察

サービス付き高齢者向け住宅「ハーヴィスヒルズ」で実施。防火・消火設備の管理状況などを点検した。

ハーヴィスヒルズは2015年6月に開所した。鉄骨3階建て(延べ2360平方メートル)で2、3階に個室が計40室あり、38人が入居。1階には事務所などがある。

澤消防長と予防課職員らが訪問。担当者から避難訓練の実施状況を聞き、消防計画の書類を確認した。階段や

食堂、廊下を巡回。消火器、スプリンクラー、火災通報装置が設置されているか、防火扉付

倉敷ケーブルテレビ 13日

<12c h>	
12:00	ニュースアゲイン
13:00	せとうち島日記
14:00	備中ジビエ料理コンテスト記念講演
17:00	KCTニュース
22:00	水島吹奏楽団演奏
<11c h>	
9:00	築港小学校運動会

近に障害物がないかなどを調べた。重大な違反はなかった。

澤消防長は「十分に管理されている。今後も避難訓練などを通じ、全職員の防災意識を高めてほしい」と講評した。

消防長特別査察は1980年から毎年春、秋に福祉施設や工場などで行っている。

(近藤哲也)



秋の全国火災予防運動(9~15日)に合わせ、市消防本部の澤消防長は11日、特別査察を東高崎のサービス

ハーヴィスヒルズの防火担当者(左)が立ち会い、消火設備を点検する
澤消防長(奥右から2人目)